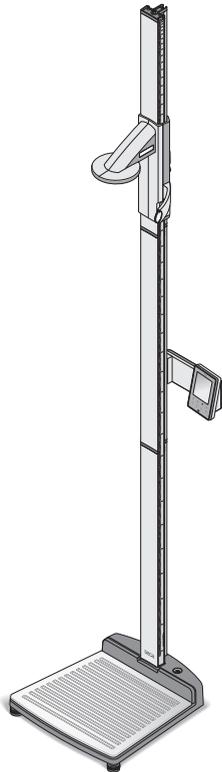


seca 285



目次

1. 装置についての説明	4	5. 体重計の操作	25
1.1 お買い上げいただき、ありがとうございます！	4	5.1 体重を量る	25
1.2 用途	4	体重測定手順を開始する	25
2. 安全に関する情報	4	乳児 / 幼児の体重を量る (2 in 1)	25
2.1 安全に関する基本的注意	4	測定結果を表示し続ける (HOLD)	26
2.2 この取扱説明書での安全上の注意	5	患者データを入力 (インプット) する	27
2.3 乾電池と充電電池の扱い	6	患者の性別を入力 (性)	28
3. 概観	7	Body Mass Index (BMI) を算 定する	28
3.1 操作エレメント	7	Body Fat Rate (BFR) を算定 する	30
3.2 ディスプレイエレメント	10	測定結果をワイヤレス受信装 置に転送する	31
3.3 型式ラベルの標示	11	測定結果を印刷する	31
3.4 メニュー構造 マルチ機能デ ィスプレイ	12	保存した値を削除 (クリア) する	31
3.5 メニュー構造 ヘッドプレート	13	自動体重測定領域切替	32
4. ご使用になる前に …	14	体重計をオフにする	32
4.1 納品内容	14	5.2 その他の機能 (メニュー)	33
4.2 装置を組み立てる	15	メニュー内をナビゲーション する	33
第 2 のポールエレメントを組 み立てる	15	値を自動的に削除する (ACIr)	34
マルチ機能ディスプレイを組 み立てる	16	BMI と BFR を切り替える (body)	35
第 3 のポールエレメントを組 み立てる	17	ディスプレイのバックライト を設定する (LCd (モニター))	35
差し込み目盛りの組み立て	18	身長をマニュアルで入力する (HGHt)	36
4.3 装置の設置	18	追加重量を保存したままにする (Pt)	37
4.4 装置の移動	19	自動保持機能をオンにする (AHold)	38
4.5 電池をセットする	20	シグナル音をオンにする (bEEP (ビーブ音))	38
乾電池をセットする	20	抑制を設定する (Fil)	39
電源ユニットを接続する	21	工場出荷時の設定に戻す (rESEt)	39
4.6 ヘッドプレートの補正	21		
自動で補正する	21		
マニュアル補正	23		

6. ヘッドプレートの操作.....	40	7.2 ワイヤレスグループ内のデジタル身長計付体重計の運用 (メニュー)	48
6.1 身長測定	40	ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))	49
身長測定を開始する	40	自動転送をオンにする (ASend (自動転送))	51
測定結果を表示し続ける (HOLD)	41	ワイヤレスモジュールをオン/オフにする (システム)	52
相対測定を実行する (Zero (ゼロ))	42	印刷オプション (APrt (自動印刷)) を選ぶ	52
測定結果をワイヤレス受信装置に転送する	42	時刻を設定する (Time (時刻))	53
ヘッドプレートをオフにする	43	8. 清掃.....	54
6.2 その他の機能 (メニュー).....	43	9. こんなときはどうする?	54
メニュー内をナビゲーションする	43	9.1 問題とその対処法	54
シグナル音をオンにする (bEEP (ブープ音))	44	9.2 ヘッドプレートの電池交換	57
工場出荷時の設定に戻す (rSEt (リセット))	45	10. メンテナンス / 再検定.....	57
ディスプレイのバックライトを設定する (LCd (モニター))	45	10.1 メンテナンスと再検定についての情報.....	57
7. ワイヤレスネットワーク		10.2 度量衡メーター内容を検証する	58
seca 360° wireless.....	47	11. 技術データ.....	59
7.1 はじめに.....	47	11.1 一般的技術データ.....	59
seca ワイヤレスグループ	47	11.2 重量測定データ	60
チャンネル	48	12. アクセサリー	60
装置の認識	48	13. 廃棄処分について	61
		13.1 装置の廃棄処分	61
		13.2 乾電池.....	61
		14. 保証について	61

1. 装置についての説明

1.1 お買い上げいただき、ありがとうございます！

購入いただいたこのデジタル身長計付体重計 **seca 285** は、高精度でしかも頑丈な製品です。

170年以上にわたって **seca** 社は健康関連の事業で経験を重ね、マーケットリーダーとして世界各国で計量と測定向けの先進的開発によって、新たな基準を打ち立て続けています。

1.2 用途

このデジタル身長計付体重計 **seca 285** は各国の規定に準拠した上で、主に病院、クリニック、健診センターなどで使用されています。

このデジタル身長計付体重計は、身長および体重の測定に使用されます。身長をマルチ機能ディスプレイにワイヤレスで転送することで、Body Mass Index (BMI) と Body Fat Rate (BFR) の自動計算を可能にしています。

測定結果は、ワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** を通じて **seca** ワイヤレスプリンターに、もしくはソフトウェア **seca analytics 105** と **seca 360° wireless USB adapter 456** を備えたパソコンにワイヤレスで転送されます。

2. 安全に関する情報

2.1 安全に関する基本的注意

- 取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 装置が傾斜のない平坦な下地に安全な状態で置かれていることを確認してください。
- この装置に強い衝撃を与えないでください。
- 装置下部のガラス板にとがった物を置かないでください。傷がついたり、亀裂が入ったり、剥げ落ちる箇所が発生したりすることがあります。そのような損傷は、ガラス板を破損させることがあります。

- 装置下部のガラス板に傷がついていないか、亀裂が走っていないか、剥げ落ちた箇所はないかを定期的に検査してください。そのような損傷を見つけたら、そのガラス板を新しいものと交換してください。
- 電源ケーブルは、それにつまずく危険がないように配置してください。
- 必ず指定されている乾電池タイプをご使用ください（20 ページの「乾電池をセットする」を参照）。
- 定期的にメンテナンスと再検定を依頼してください（57 ページの「メンテナンス/再検定」を参照）。
- メンテナンスおよび修理は、必ず資格を有するサービス担当者に行わせてください。最寄のサービス担当者は、www.seca.com でお探しくささい。あるいは info@seca.co.jp にメールしてください。
- 必ず seca 社オリジナルのアクセサリーと、同じくオリジナルの交換部品をご使用ください。その他のものを使用した場合には当社は保証いたしかねます。
- 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、携帯電話といった HF（短波）装置とは、最低でも 1メートルの距離をあけてください。

2.2 この取扱説明書での安全上の注意



危険！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながります。



警告！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながる可能性があります。



注意！

危険状況を表示します。この注意を無視した場合、軽度から中程度の負傷事故につながる可能性があります。

気をつけて！

装置の操作を誤っている可能性があることを表示します。この注意を無視した場合、装置を損傷させたり誤った測定結果が出る可能性があります。

注意事項

この装置の使用に関する追加的な情報を含んでいます。

2.3 乾電池と充電電池の扱い

この装置には、4本の単三乾電池と一緒に納品されます。この乾電池タイプは、再充電できません。以下の安全上の注意に留意してください。



警告！

不適切な扱いによる人体の被害。

乾電池は有害な物質を含んでおり、不適切な扱いをすると激しい勢いで噴出することがあります。

- － 乾電池の再充電を試みることはお止めください。
- － 乾電池 / 充電電池を加熱してはいけません。
- － 乾電池 / 充電電池を燃焼させてはいけません。
- － 酸が漏れ出した場合には、皮膚、目、粘膜に触れないようにしてください。触れてしまった箇所があれば、十分に清浄な水ですすぎ流し、すぐに医師の診察を受けてください。

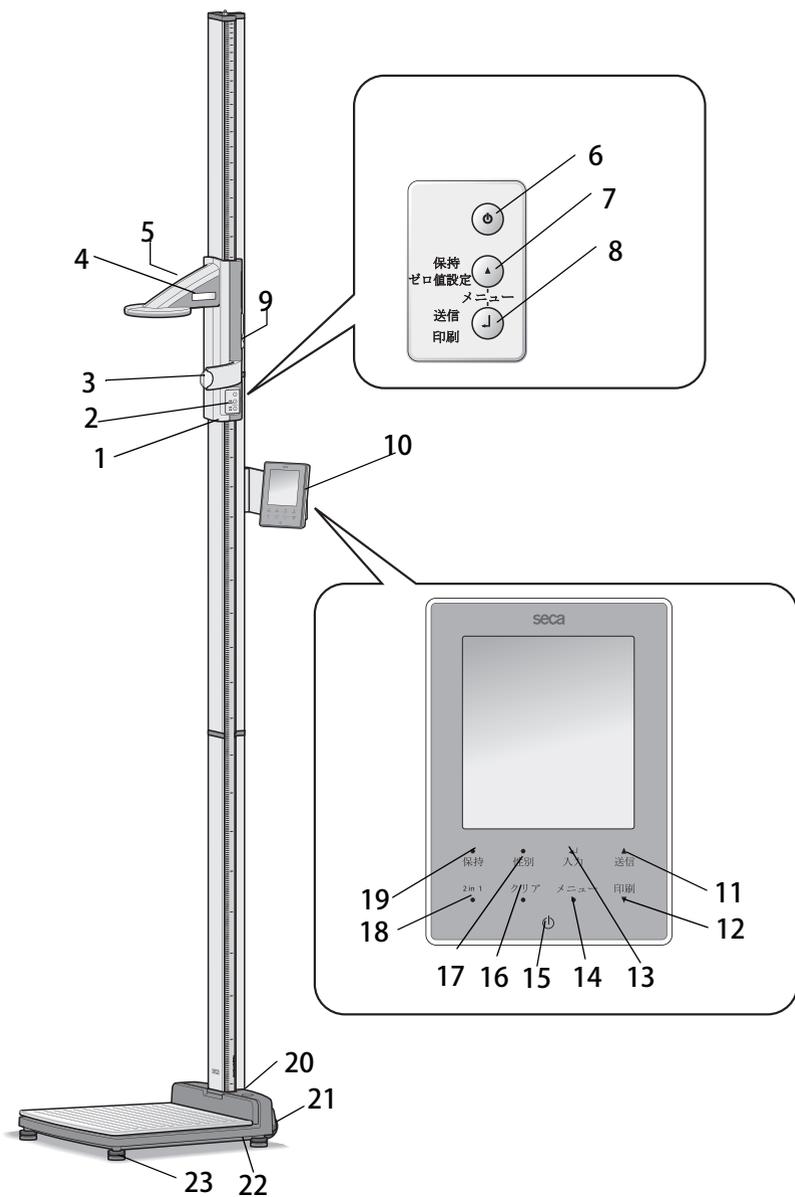
気をつけて！

不適切な扱いによる装置の破損および誤作動

- － 必ず指定されている乾電池タイプ / 充電電池タイプをご使用ください（20ページの「乾電池をセットする」を参照）。
- － すべての乾電池 / 充電電池は必ず同時に交換してください。
- － 乾電池 / 充電電池をショートさせてはいけません。
- － 装置を長い間ご使用にならない場合には、乾電池 / 充電電池を取り外してください。そのようにすれば酸が装置に漏れ出すということがありません。

3. 概観

3.1 操作エレメント

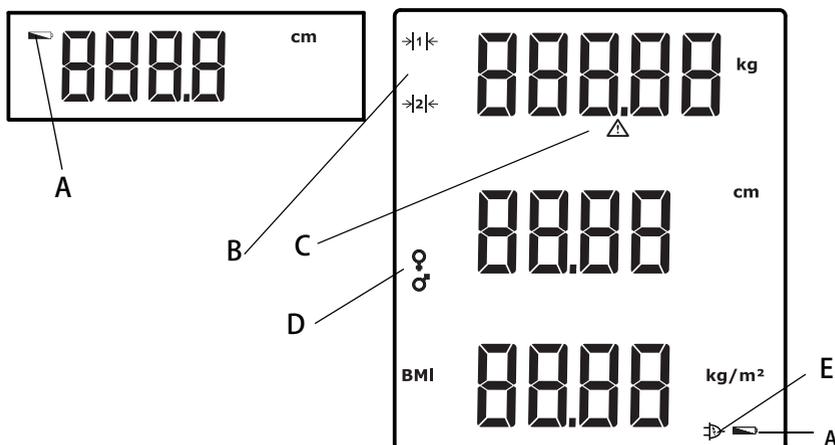


No.	操作エレメント	機能
1	ヘッドプレート	身長測定用の操作エレメント
2	ボタン、ヘッドプレート	身長測定の実行および装置の設定のためのコントロールエレメント
3	フランクフルト定規	いわゆる「フランクフルト平面」による頭部の位置合わせのための伸縮定規。
4	ディスプレイ、ヘッドプレート	測定結果および設定のためのヘッドプレート表示エレメント
5	電池収納スペース、ヘッドプレート	4本の単三乾電池（1.5V）のバッテリーパックの収納
6		スタートボタン、ヘッドプレート： ヘッドプレートのオン/オフ
7		矢印ボタン（ 保持 / ゼロ値設定 ） <ul style="list-style-type: none"> • 測定中 <ul style="list-style-type: none"> - 短く押す 保持機能をオンにする - 長く押す ゼロ値の設定 • メニュー内で <ul style="list-style-type: none"> - サブメニューを選択する、メニュー項目を選択する - 値を設定する（短く押すと値は1だけ変化します。長く押すとボタンを離すまで値が変化し続けます）
8		エンターボタン（ 送信 / 印刷 ） <ul style="list-style-type: none"> • 測定中（ワイヤレスネットワークが設定されているとき） <ul style="list-style-type: none"> - 短く押す 測定結果を受信可能な装置（マルチ機能ディスプレイ、ワイヤレスプリンター、USBワイヤレスモジュール付パソコン）に転送する - 長く押す 測定結果を印刷する（ワイヤレスプリンター） • メニュー内で <ul style="list-style-type: none"> - 選択したメニュー項目を確定する - 設定した値を保存する
9	ブレーキボタン	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドプレートを定位置に停止させる • 押すとヘッドプレートが動きます
10	マルチ機能ディスプレイ	セントラルコントロール / 表示エレメント

No.	操作エレメント	機能
11	▲ 送信	矢印ボタン送信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体重測定中（ワイヤレスネットワークが設定されているとき） <ul style="list-style-type: none"> - 測定結果を受信可能な装置（ワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に転送する ・ メニュー内で <ul style="list-style-type: none"> - サブメニューを選択する、メニュー項目を選択する - 値を増加させる（短く押すと値は 1 だけ増加します。長く押すとボタンを離すまで値が増加し続けます）
12	▼ 印刷	矢印ボタン印刷 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体重測定中（ワイヤレスネットワークが設定されているとき） <ul style="list-style-type: none"> - 測定結果を印刷する（ワイヤレスプリンター） ・ メニュー内で <ul style="list-style-type: none"> - サブメニューを選択する、メニュー項目を選択する - 値を減少させる（短く押すと値は 1 だけ減少します。長く押すとボタンを離すまで値が減少し続けます）
13	← 入力	エンターボタン（入力） <ul style="list-style-type: none"> ・ 体重測定中 <ul style="list-style-type: none"> - 患者データ（年齢、性別、PAL）を入力 ・ メニュー内で <ul style="list-style-type: none"> - 選択したメニュー項目を確定する - 設定した値を保存する
14	● メニュー	メニューボタン <ul style="list-style-type: none"> ・ 体重測定中 <ul style="list-style-type: none"> - 操作する部分のメニューを呼び出す。 ・ メニュー内で <ul style="list-style-type: none"> - 短く押す メニューレベルを 1 つ戻る - 長く押す メニューから出る
15	⏻	スタートボタン、マルチ機能ディスプレイ マルチ機能ディスプレイおよび体重計のオン/オフ
16	● クリア	クリアボタン マニュアルで入力または無線を介して受け取ったデータ（患者データ、身長、BMI、BFR）を削除する
17	● 性別	性別ボタン 患者の性別の入力

No.	操作エレメント	機能
18	2 in 1 ●	2 in 1 ボタン 乳児および小児の体重測定のための 2 in 1 機能をスタート
19	● 保持	保持ボタン 保持機能をオンにする
20	水準器	この装置が水平に立っているかを表示
21	キャスター	2 個、短い距離を移動させるのに使用
22	系統接続部	電源ユニットの接続に使用
23	脚部調整ねじ	4 個、正確な位置調整のために使用

3.2 ディスプレイエレメント



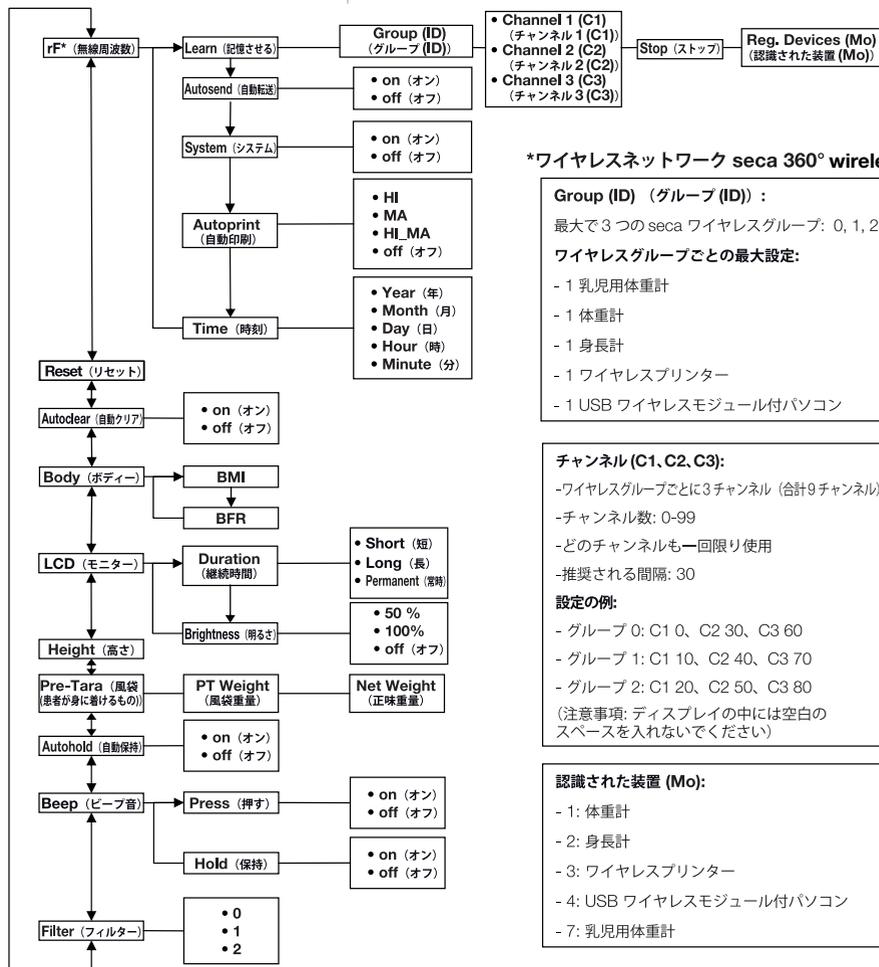
	シンボルマーク	意味
A		乾電池の電圧が低下。
B	→1 ← →2 ←	現在使用中の体重測定範囲 1: 負担能力が低い場合における詳細体重表示 2: 最大限の負担能力
C		検定対象外の数値です
D		患者の性別
E		電源ユニットでの運用

3.3 型式ラベルの標示

テキスト/シンボル マーク	意味
Modell	モデル番号
Type	型式名
Ser.No.	シリアル番号
	取扱説明書に留意
	電子医療機器 (タイプ B) (ヨーロッパ内)
	保護絶縁された装置、保護クラス II
M	装置は指令 2009/23/EC に適合 (ヨーロッパ内に限定)
	指令 2009/23/EC に準じて検定 クラス III (ヨーロッパ内に限定)
CE	装置は EC の規格および指令に適合
	特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則に適合。 認証番号 : 202WW09118012
	装置は直流電流のみを使用、装置プラグの +/- 極を間違わないように注意
	装置を家庭ゴミとして廃棄しないこと

3.4 メニュー構造 マルチ機能ディスプレイ

この装置のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そしてこの装置をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます（詳細は33ページ以降、および49ページ以降）。



*ワイヤレスネットワーク seca 360° wireless :

Group (ID) (グループ (ID)) :
 最大で3つのsecaワイヤレスグループ: 0, 1, 2
ワイヤレスグループごとの最大設定:
 - 1 乳児用体重計
 - 1 体重計
 - 1 身長計
 - 1 ワイヤレスプリンター
 - 1 USB ワイヤレスモジュール付パソコン

チャンネル (C1, C2, C3):
 -ワイヤレスグループごとに3チャンネル (合計9チャンネル)
 -チャンネル数: 0-99
 -どのチャンネルも一回限り使用
 -推奨される間隔: 30
設定の例:
 - グループ 0: C1 0、C2 30、C3 60
 - グループ 1: C1 10、C2 40、C3 70
 - グループ 2: C1 20、C2 50、C3 80
 (注意事項: ディスプレイの中には空白のスペースを入れないでください)

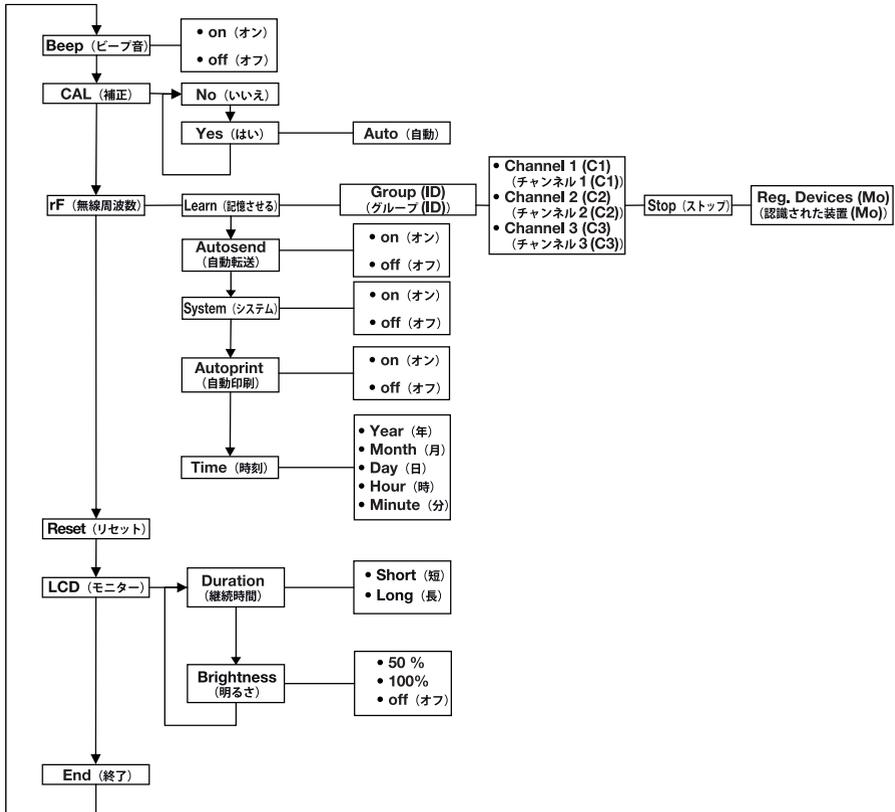
認識された装置 (Mo):
 - 1: 体重計
 - 2: 身長計
 - 3: ワイヤレスプリンター
 - 4: USB ワイヤレスモジュール付パソコン
 - 7: 乳児用体重計

ナビゲーション:



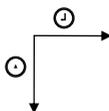
3.5 メニュー構造 ヘッドプレート

この装置のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そしてこの装置をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます。詳しくは、43 ページ以降および 49 ページ以降をご覧ください。



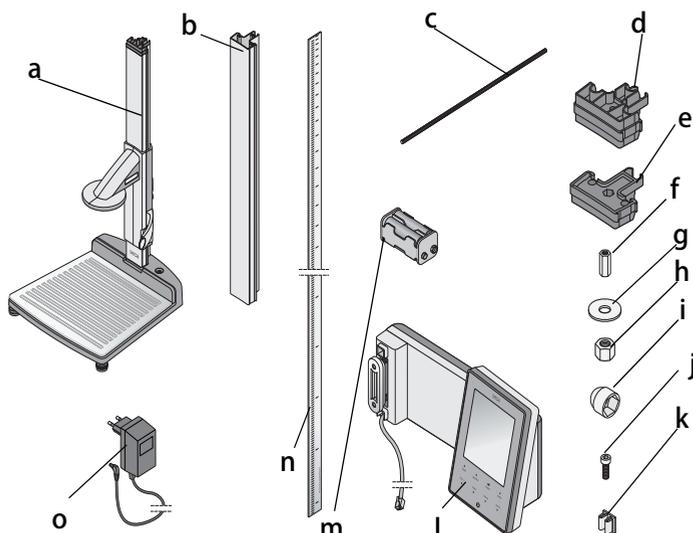
ナビゲーション:

メニュー呼び出し:



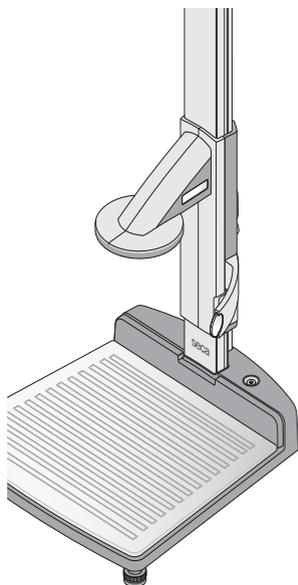
4. ご使用になる前に …

4.1 納品内容



No.	コンポーネント	個数
a	ボディー下部、組立済み - 第1のポールエレメント - フランクフルト定規付ヘッドプレート	1
b	ポールエレメント	2
c	ねじ棒	2
d	ポールジョイント	1
e	エンドキャップ	1
f	ロングナット	1
g	フラットワッシャー	1
h	ナット	1
i	化粧キャップ	1
j	六角穴付きねじ	2
k	ケーブルクリップ	2
l	接続ケーブル付きマルチ機能ディスプレイ	1
m	4本の単三乾電池が入る電池容器	1
n	差し込み目盛り	1
o	電源装置	1
	補正棒、画像なし	1
	取扱説明書、画像なし	1
	フランクフルト定規カバー、画像なし	1
	ツールセット、画像なし	1

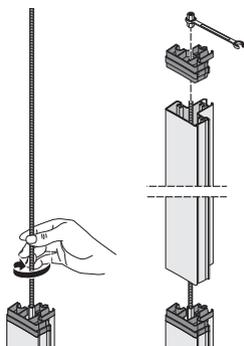
4.2 装置を組み立てる



工場から出荷される際、装置下部の上には既に第1のポールエレメントとヘッドプレートが組み立てられています。

それ以上の組み立ては、協力者と一緒に行ってください。組み立てると高くなりますので、コンポーネントを床に寝かせ、完全に組み立てた後に装置を起こすという組み立て方法をお奨めします。以下の手順で行います。

第2のポールエレメントを組み立てる



ポールエレメントを相互に接続するには、次の手順で行ってください。

1. ねじ棒を、第1のポールエレメントのロングナットにしっかりとねじ込みます。
2. 第1のポールエレメントの上に、ねじ棒を使ってポールエレメントを押し入れます。

気をつけて！

誤った組み立てによる装置の破損

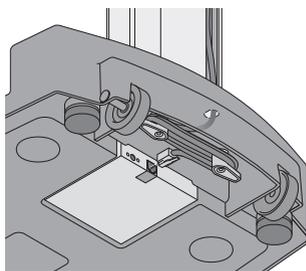
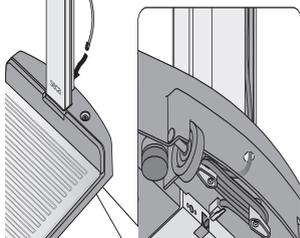
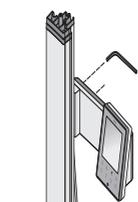
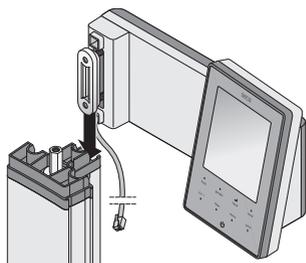
ポールジョイントとカバーキャップを取り違えると、装置は規定通りに組み立てることはできません。

- 第2のポールエレメントを組み立てる際には、ポールジョイントを使用していることを確認してください（14ページの「納品内容」を参照）。

3. ポールジョイントを、ねじ棒がそのポールジョイントの内腔から頭を出すように、第2のポールエレメントの上にセットします。
4. そのねじ棒にロングナットをねじ込みます。
5. そのロングナットを固く引き締めます。

マルチ機能ディスプレイ を組み立てる

マルチ機能ディスプレイをポールエレメントの溝に掛け、締めつけねじで固定します。組み立てる高さは自由に選べます。



1. マルチ機能ディスプレイの溝用ナットをその第2のポールエレメントの溝にはめ込みます。
2. 2つの六角穴付きねじを締めつけ、マルチ機能ディスプレイを任意の位置に固定します。
3. マルチ機能ディスプレイの接続ケーブルをポールエレメントの溝の中を装置下部まで導きます。
4. 接続ケーブルを装置下部の穴を通して外に引き出します。

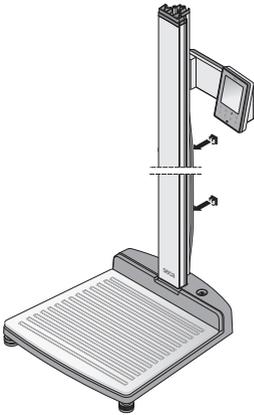
気をつけて！

誤った組み立てによる誤作動

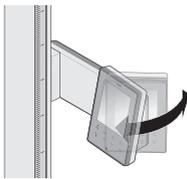
ケーブルが、強い力で引っ張られる状態になっていると、誤った表示やディスプレイの故障が発生することがあります。

- すべてのケーブルは、大きくたわむことがないように、またプラグが折れ曲がらないように設置してください。

5. 接続ケーブルのむき出しの端は、ボディー下部のケーブルホルダーに巻きつけてください。
6. 接続ケーブルのプラグを体重計プラットフォームの適切なジャックに差し込みます。



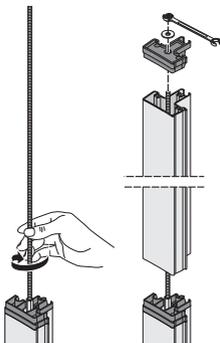
7. 接続ケーブルをポールエレメントの溝にある両方のケーブルクリップに固定します。



8. マルチ機能ディスプレイを、表示を読み取りやすいように向きを変えてください。

第3のポールエレメントを組み立てる

ポールエレメントを相互に接続するには、次の手順で行ってください。



1. ねじ棒を、第2のポールエレメントのロングナットにしっかりとねじ込みます。
2. 第2のポールエレメントのポールジョイントの上に、ねじ棒を使ってポールエレメントを押し入れます。
3. エンドキャップを、ねじ棒がそのエンドキャップの内腔から頭を出ないように、第2のポールエレメントの上にセットします。
4. フラットワッシャーをねじ棒の空いている末端の上にセットします。
5. ナットをねじ棒の空いている末端の上にセットします。
6. そのナットを固く引き締めます。
7. 化粧キャップをそのナットの上にセットします。

差し込み目盛りの組み立て

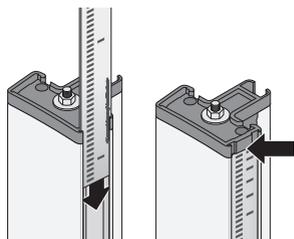
気をつけて！

誤った組み立てによる誤測定

差し込み目盛りが適切に組み立てられていないと、ヘッドプレートは適切な測定値を得ることができません。

- 差し込み目盛りは、溝に差し込むときに印刷面が見えるように位置を合わせます。
- 差し込み目盛りは、物品番号を示す領域が下の末端になるように位置を合わせます。
- 差し込み目盛りが、エンドキャップの下にかみ合っていることを確認します。

- ◆ 差し込み目盛りは、その目盛りがエンドキャップの下にかみ合うまで、ポールエレメントのわきの溝に押し込みます。



4.3 装置の設置

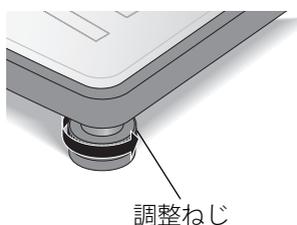
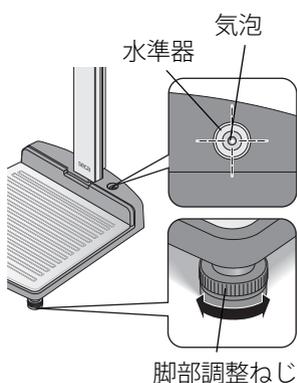
気をつけて！

他の部分に重さがかかることによる誤測定

患者の体重が完全にはかりの床にかかっていないと正しい測定ができません。

- 装置の脚部調整ねじだけが床と接触するように装置を設置してください。
- はかりの床が他の物体に触れることがないように装置を設置してください。
- 体重を測定している間、患者が装置のポールに触れていないようにしてください。

1. 装置は堅い平面上に設置してください。



- 脚部調整ネジを回して、装置の位置を調整します。
水準器の気泡が正確に円の中央に来るように調整してください。
- 調整ねじを矢印の方向に回して締めます。
この脚部調整ねじは、誤った位置の変更に対して保護されています。

4.4 装置の移動

この装置は二つのキャスターを備えており、これにより短距離の移動が可能です。



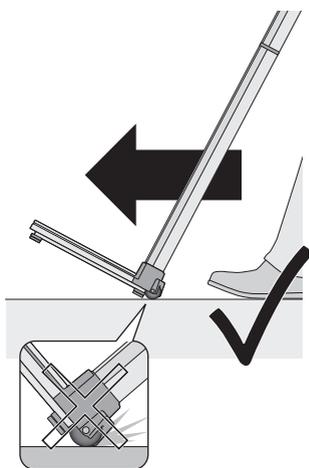
注意！

負傷の恐れおよび装置の破損

装置を必ず傾けてください。装置を傾けず高いままにすると、負傷や装置の破損につながる恐れがあります。

- 他の人がすぐ近くにいないかを確認してください。
- すぐ近くに物体がないかを確認してください。

- 電源装置をコンセントから引き抜いてください。



2. 装置をキャスターで自由に動かせるようになるまで装置を下に傾けます。
3. 装置を再びまっすぐに起こします。
4. 電源装置をコンセントに差し込んでください。

4.5 電池をセットする

ヘッドプレートの電力供給は乾電池で行われます。体重計とマルチ機能ディスプレイは、1つの電源ユニットで作動します。

乾電池をセットする

付属の電池容器には、4本の単三乾電池（1.5V）が入っています。ヘッドプレートの電池をセットするには、次の手順で行ってください。

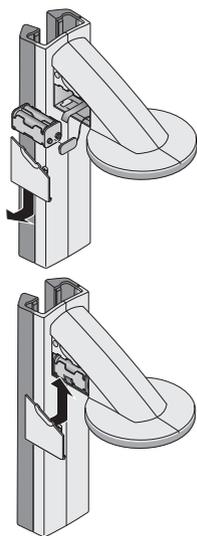
1. 電池収納スペースのカバーを外します。
2. 接続ケーブルを電池収納スペースから引き出します。
3. 電池容器を接続ケーブルにつなぎます。
4. その電池容器を電池収納スペースにセットします。

気をつけて！

ケーブルが挟まれていることによる装置の破損および誤作動

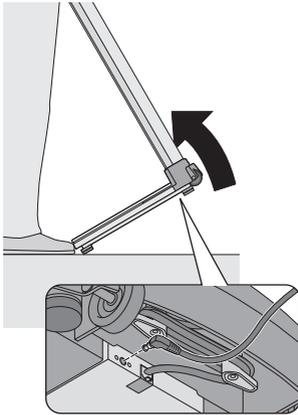
- 電池収納スペースを閉じる前には、カバーと電池収納スペースの間に電池ケーブルが挟まれていないように電池ケーブルの位置を調整します。

5. そのカバーを、音を立ててかみ合うまで電池収納スペースに押し込みます。



電源ユニットを接続する

電源ユニットの接続部は、装置下部の裏側にあります。体重計とマルチ機能ディスプレイの電池をセットするには、次の手順で行ってください。



注意！

負傷の恐れおよび装置の破損

装置を必ず傾けてください。装置を傾けず高いままにすると、負傷や装置の破損につながる恐れがあります。

- 他の人がすぐ近くにいないかを確認してください。
- すぐ近くに物体がないかを確認してください。

1. 装置を前方に傾けます。

気をつけて！

電圧が高すぎると装置が破損

市販の電源ユニットでは、そこに記載されているよりも高い電圧を供給することがあります。体重計は、オーバーヒート、発火、溶解、ショートの内いずれかを引き起こすことがあります。

- 9 ボルトないし制御された 12 ボルトの電圧を供給する seca のオリジナル電源ユニットだけをご利用ください。

2. 電源ユニットの電源プラグを体重計の接続ジャックに差し込みます。
3. 装置を慎重に再びまっすぐに起こします。
4. 電源ユニットを電源コンセントに差し込んでください。

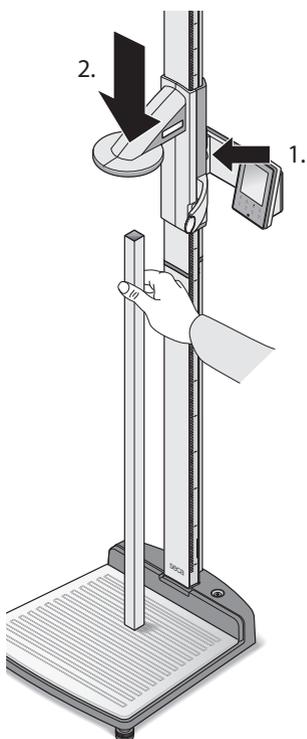
4.6 ヘッドプレートの補正

この装置を使って初めて身長測定を行う前に、この装置を補正してください。これは、この装置に基準尺度を「教える」ことで実施できます。

自動で補正する

付属の補正棒を使って自動補正を行うことができます。

1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押します。ディスプレイに「---」と表示されます。



- ブレーキボタンを押し続け、身長値がディスプレイに表示されるまでヘッドプレートを動かします。

気をつけて！

不完全な補正による誤測定

表示される身長値は、ヘッドプレートの実際の位置と一致していません。

- この章に書かれているように補正を終了させてください。

- 付属の補正棒（長さ 0.8 m）を装置下部の上に垂直に立て、その位置で保持します。
- ブレーキボタンを押し続け、ヘッドプレートを補正棒の上にスライドさせます。

① **bEEP**

- メニューを開くにはエンターボタン（送信 / 印刷）と矢印ボタン（保持 / ゼロ値設定）を同時に押し続けます。

最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます（ここでは「bEEP（ビープ音）」）。

② **CAL**

- 矢印ボタン（保持 / ゼロ値設定）を、「CAL（補正）」がディスプレイに表示されるまで何度も押します。

③ **YES**

- エンターボタン（送信 / 印刷）で選択を確定します。

④ **Auto**

- 矢印ボタン（保持 / ゼロ値設定）を使って設定「Yes（はい）」を選択します。

- エンターボタン（送信 / 印刷）で選択を確定します。「Auto（自動）」の表示が現れます。



10. エンターボタン (送信 / 印刷) でその表示を確定します。
装置は補正されています。この装置で身長測定を行うことができます。

マニュアル補正

補正棒が手元にないときには、高さのわかっている他の物体を使用してマニュアルで補正を行うことができます。

1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押します。
ディスプレイに「---」と表示されます。
2. ブレーキボタンを押し続け、身長値がディスプレイに表示されるまでヘッドプレートを動かします。

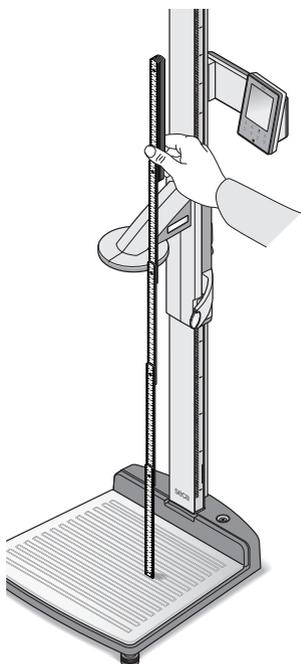
気をつけて！

不完全な補正による誤測定

表示される身長値は、ヘッドプレートの実際の位置と一致していません。

- この章に書かれているように補正を終了させてください。

3. 高さのわかっている物体を装置下部の上に垂直に立て、その位置で保持します。
4. ヘッドプレートをその物体の上にスライドさせます。



5. メニューを開くにはエンターボタン (送信 / 印刷) と矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を同時に押し続けます。
最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます (ここでは「bEEP (ビープ音)」)。
6. 矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を、「CAL (補正)」がディスプレイに表示されるまで何度も押し続けます。
7. エンターボタン (送信 / 印刷) で選択を確定します。



8. 矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を使って設定「Yes (はい)」を選択します。
9. エンターボタン (**送信 / 印刷**) で選択を確定します。
「Auto (自動)」の表示が現れます。
10. 矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を使ってその物体の長さを入力します。
11. エンターボタン (**送信 / 印刷**) でその設定した値を確定します。
装置は補正されています。この装置で身長測定を行うことができます。

5. 体重計の操作

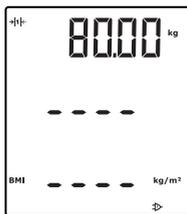
5.1 体重を量る

体重測定手順を開始する

1. 体重計に負荷がかかっていないことを確認してください。
2. マルチ機能ディスプレイのスタートボタン
 を押します。

ディスプレイには **SECA** と表示され、ディスプレイのすべてのエレメントが短い間表示されます。ディスプレイに **0.00** と表示されれば体重計は作動準備完了です。

3. 患者に体重計の上に立ってもらってください。患者の体重が表示されます。
4. 測定結果を読み取ります。



乳児 / 幼児の体重を量る (2 in 1)

2 in 1 機能を使えば、乳児および幼児の体重を量ることができます。それには体重測定の間、大人が子供を腕で抱きかかえます。以下の手順で行います。

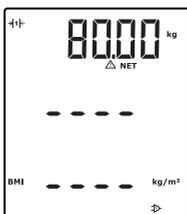
1. 体重計に負荷がかかっていないことを確認してください。
2. マルチ機能ディスプレイのスタートボタン
 を押します。

3. 大人に体重計の上に立ってもらってください。大人の体重が表示されます。

4. **2 in 1** ボタンを押します。

体重が記録されます。

0.00、 マーク（検定対象外数値）、NET というメッセージがディスプレイに表示されます。



2 in 1

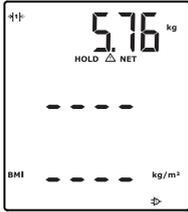


気をつけて！

初期の重さが変わることによる誤測定

子供の体重測定が、他の初期重量と一緒にに行われると子供の体重を正しく測定することができません。

- 子供の体重測定は、つねに初期重量を測定された大人の人が子供を抱いて行っているか確認してください。
- その大人の体重が、例えば服を脱ぐなどして変化していないかを確認してください。



2 in 1



測定結果を表示し続ける (HOLD)

- 大人に、子供と一緒に体重計の上に上がってもらってください。
子供の体重が表示されます。
△マーク（検定対象外数値）および「HOLD（保持）」、「NET」というメッセージが表示されます。
- 2 in 1 機能をオフにするには、**2 in 1** ボタンを押すか、体重計のスイッチをオフにします。

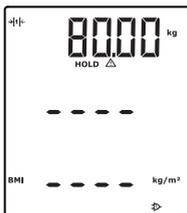
HOLD（保持）機能をオンにしていると、体重値は体重計に重さがかかってもずっと表示され続けます。まだ測定値を記録していなくても患者をケアすることができます。

1. 体重計に負荷がかかっていないことを確認してください。
2. マルチ機能ディスプレイのスタートボタン  を押します。

3. 患者に体重計の上に立ってもらってください。

4. **保持** ボタンを押します。

表示は、測定している体重が安定するまで点滅します。その後、体重値が表示されたままになります。△マーク（検定対象外数値）および「HOLD（保持）」というメッセージが表示されず。



●
保持

●
保持

5. HOLD（保持）機能をオフにするには**保持**を押します。
△マークおよび「HOLD（保持）」というメッセージは表示されなくなります。

注意事項

自動保持機能がオンになっていると体重値は、測定結果が安定した後、自動的に表示されたままになります。(38ページの「自動保持機能をオンにする (AHold)」を参照)

患者データを入力 (インプット) する

患者データである年齢、性別、身体活動レベル (PAL) をマルチ機能ディスプレイで直接入力することができます。測定結果を **seca 360° wireless** システムからワイヤレスプリンターに転送すると患者データも一緒に送られます。

患者データに基づいてワイヤレスプリンターは測定結果を評価します。ワイヤレスプリンターの設定により、測定結果と評価はプリントアウトされます。これにより診断がかなり容易になります。

注意事項

ワイヤレスプリンター設定の詳細は、この取扱説明書に記述されています。

1. マルチ機能ディスプレイのスタートボタン

 を押します。

2. エンターボタン (入力) を押します。
装置スタート後の最初の呼び出しの際、メニュー項目の「PAL (身体活動レベル)」がディスプレイに表示されます。
装置のスイッチがオンになっている間に再度呼び出しが行われると、最後に選択されたメニュー項目がディスプレイに表示されます。
3. 矢印ボタン送信もしくは印刷で1つのメニュー項目を選んでください。

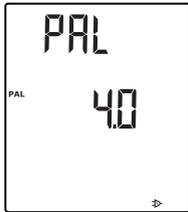
- PAL 身体活動レベル
- AGE 年齢
- GEn 性別

←
入力

←
入力



▲
送信
印刷
▼
←
入力



4. 選択を確定します。
前回の測定のときに使用された値が表示されます。その値を使うか矢印ボタンで別の値を設定することができます。

機能	設定
身体活動レベル (PAL)	1.0 から 5.0 まで
AGE	<ul style="list-style-type: none"> • 3 歳までは月数を単位として • 18 歳までは半年を単位として • 18 歳以降は年を単位として
GEn	<ul style="list-style-type: none"> • 男 • 女

5. 選択を確定します。
入力機能は自動的に終了します。
6. 「AGE (年齢)」と「GEn (性別)」について設定する場合にも、この手続きを繰り返してください。

患者の性別を入力 (性)

性別ボタンを使い、患者の性別を直接入力することができます。

注意事項

この設定は、「Input\gender (インプット\性)」で行った設定に上書きされます。

- ◆ 「男」と「女」を切り替えるには、性別ボタンを押します。
- ◆ 性別シンボルの表示を削除するには、クリアボタンを押します。

●
性別



Body Mass Index (BMI) を算定する

BMI は、身長と体重の相関関係を表わします。健康的に最適とみなされる許容範囲を表示します。

1. マルチ機能ディスプレイとヘッドプレート of スタートボタン  を押します。
2. マルチ機能ディスプレイで「BMI」算定法が設定されていることを確認してください (35 ページの「BMI と BFR を切り替える (body)」を参照)。
3. 患者にデジタル身長計付体重計の上に立ってもらってください。
患者の体重が表示されます。

●
保持▲
送信印刷
▼●
クリア

4. 体重が表示されたままにするには、**保持**ボタンを押します。

患者の体重が表示されたままになります。

注意事項

自動保持機能がオンになっていると体重値は、測定結果が安定した後、自動的に表示されたままになります。(38 ページの「自動保持機能をオンにする (AHold)」を参照)

5. ヘッドプレートを使い患者の身長を測定します (40 ページの「身長測定を開始する」を参照)。
6. ヘッドプレートでエンターボタン (**送信 / 印刷**) を短く押します (42 ページの「測定結果をワイヤレス受信装置に転送する」を参照)。
受け取った身長はマルチ機能ディスプレイに表示されます。
BMI は自動的に算定され表示されます。

注意事項

ヘッドプレートが故障した場合、マルチ機能ディスプレイに身長をマニュアルで入力することもできます (36 ページの「身長をマニュアルで入力する (HGht)」を参照)。

7. 測定結果を **seca 360° wireless** システムから受信装置に次の方法で転送してください。
 - USB ワイヤレスアダプター付パソコンへは **送信**ボタンを押す
 - seca ワイヤレスプリンターへは**印刷**ボタンを押す
8. 患者にデジタル身長計付体重計から降りてもらってください。
9. **クリア**ボタンを押します。
患者データ、身長、BMI が削除されます。そうすることで以降の患者に古いデータが適用され誤った BMI が導き出されるのを回避します。

注意事項

「自動クリア (Autoclear)」機能がオンになっていると身長および BMI は、5 分後に自動的に削除されます (34 ページの「値を自動的に削除する (AClr)」を参照)。

Body Fat Rate (BFR) を 算定する

●
性別

♂

●
保持



Ⓜ

BFRは、身長、体重、性別の相関関係を表わします。健康的に最適とみなされる許容範囲を表示します。

1. マルチ機能ディスプレイとヘッドプレートのスタートボタン  を押します。
 2. マルチ機能ディスプレイで「BFR」算定法が設定されていることを確認してください（35ページの「BMIとBFRを切り替える（body）」を参照）。
 3. 「男」と「女」を切り替えるには、**性別**ボタンを押します。
 4. 患者にデジタル身長計付体重計の上に立ってもらってください。
患者の体重が表示されます。
 5. **保持**ボタンを押します。
患者の体重が表示されたままになります。
- 注意事項**
自動保持機能がオンになっていると体重値は、測定結果が安定した後、自動的に表示されたままになります。（38ページの「自動保持機能をオンにする（AHold）」を参照）
6. ヘッドプレートを使い患者の身長を測定します（40ページの「身長測定を開始する」を参照）。

7. ヘッドプレートでエンターボタン（**送信 / 印刷**）を短く押します（42ページの「測定結果をワイヤレス受信装置に転送する」を参照）。
受け取った身長はマルチ機能ディスプレイに表示されます。
BFRは自動的に算定され表示されます。

注意事項

ヘッドプレートが故障した場合、マルチ機能ディスプレイに身長をマニュアルで入力することもできます（36ページの「身長をマニュアルで入力する（HGHT）」を参照）。

▲
送信印刷
▼クリア
●

8. 測定結果を **seca 360° wireless** システムから受信装置に次の方法で転送してください。
 - USB ワイヤレスアダプター付パソコンへは **送信** ボタンを押す
 - seca ワイヤレスプリンターへは **印刷** ボタンを押す
9. 患者にデジタル身長計付体重計から降りてもらってください。
10. **クリア** ボタンを押します。
患者データ、身長、BFR が削除されます。そうすることで以降の患者に古いデータが適用され誤った BFR が導き出されるのを回避します。

注意事項

「自動クリア (Autoclear)」機能がオンになっていると身長および BMI は、5 分後に自動的に削除されます (34 ページの「値を自動的に削除する (AClr)」を参照)。

測定結果をワイヤレス受信装置に転送する

デジタル身長計付体重計が **seca 360° wireless** ワイヤレスネットワークに統合されていると、ボタンを押すと測定結果を受信可能な装置 (例えば USB ワイヤレスモジュール付パソコン) に転送することができます。

▲
送信

- ◆ 矢印ボタン**送信**を押します。

測定結果を印刷する

デジタル身長計付体重計がワイヤレスプリンターに接続されていると、測定結果を直接プリントアウトすることができます。

印刷
▼

- ◆ 矢印ボタン**印刷**を押します。

保存した値を削除 (クリア) する

古い測定結果と患者データのために、誤った BMI ないし BFR 算定が行われます。**クリア** ボタンを使い、次の測定値と患者データを削除することができます。

- 身長
- BMI
- BFR
- 性別
- 身体活動レベル (PAL)
- 年齢

注意事項

- 次の測定のために PAL、年齢、性別（入力機能）を入力したい場合、最後の測定の値が再度提示されます。（27 ページの「患者データを入力（インプット）する」を参照）
- 「自動クリア（Autoclear）」機能がオンになっていると測定値および患者データは、5 分後に自動的に削除されます。（34 ページの「値を自動的に削除する（AClr）」を参照）

クリア

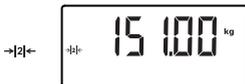


◆ クリアボタンを押します。

患者データ、身長、BMI ないし BFR が削除されます。代わりに「----」と表示されます。性別のシンボルが消えます。

自動体重測定領域切替

この体重計では 2 つの測定領域を使うことができます。測定領域 1 (→H←) では、かかる体重が小さく、詳細な体重表示が可能です。測定領域 2 (→M←) では、体重計の負担能力を最大限まで利用することができます。



体重計のスイッチを入れると測定領域 1 がオンになります。特定の体重値を超えると体重計は自動的に測定領域 2 に切り替わります。

再度、測定領域 1 に戻すには、次の手順で行ってください。



- ◆ 体重計からすべてのものを降ろします。再び測定領域 1 がオンになります。

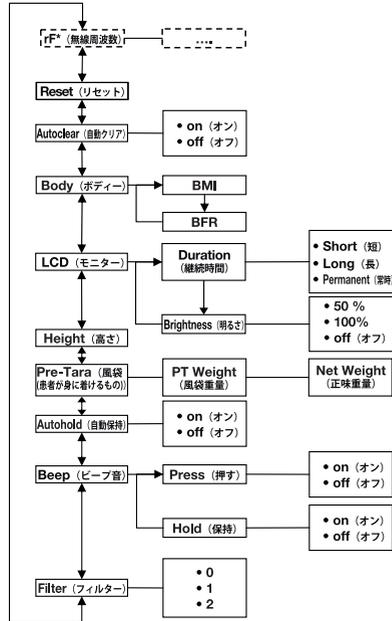
体重計をオフにする

- ◆ マルチ機能ディスプレイのスタートボタン

 を押します。

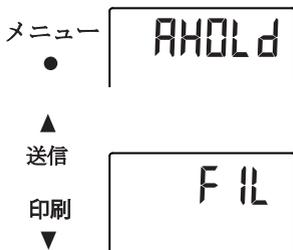
5.2 その他の機能（メニュー）

この装置のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そしてこの装置をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます。

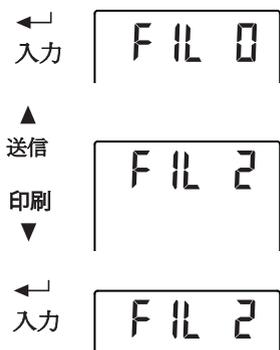


*メニュー項目「rF（無線周波数）」の説明は、48ページ「ワイヤレスグループ内のデジタル身長計付体重計の運用（メニュー）」の章をご覧ください。

メニュー内をナビゲーションする



- マルチ機能ディスプレイのスタートボタン  を押します。
- メニューボタンを押します。
最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます（ここでは自動保持「Ahold」）。
- 矢印ボタン **送信印刷** を、ご希望のメニュー項目がディスプレイに表示されるまで何度も押します（ここでは抑制「Fil」）。



4. エンターボタン（入力）で選択を確定します。メニュー項目もしくはサブメニューに関する現在の設定が表示されます（ここでは段階「0」）。
5. 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタン送信または印刷を、ご希望の設定（ここでは段階「2」）が表示されるまで何度も押してください。
6. エンターボタン（入力）でその設定を確定します。メニューは自動的に終了します。
7. 他の設定を行うには、メニューを新たに呼び出し、この手続きを繰り返します。

注意事項

- メニューボタンを短く押すとメニューレベルが元に戻ります。
- メニューボタンを長く押すといつでもメニューから抜け出すことができます。
- 約 24 秒間ボタンが押されないままだとメニューは自動的に終了します。

値を自動的に削除する (ACIr)

古い測定結果と患者データのために、誤った BMI ないし BFR 算定が行われます。次の測定結果および患者データが 5 分後には自動的に削除されるように装置を設定することができます。

- 性別
- 身体活動レベル (PAL)
- 年齢
- 身長
- BMI
- 体脂肪率 (BFR)

注意事項

- 次の測定のために PAL、年齢、性別（入力機能）を入力したい場合、最後の測定の値が再度提示されます（27 ページの「患者データを入力（インプット）する」を参照）。
- モデルによってはこの機能が工場出荷時にオンになっているものがあります。希望によりこの機能をオフにすることができます。

AClr

On

1. メニューで項目「AClr」を選択します。
2. その選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. ご希望の設定を選択します。
 - On (オン)
 - Off (オフ)
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
測定の5分後にはその都度、患者データ、身長、BMIないしBFRが削除されます。代わりに「----」と表示されます。
性別のシンボルが消えます。

BMI と BFR を切り替える (body)

body

bmi

bfr

デジタル身長計付体重計が Body Mass Index (BMI) と Body Fat Rate (BFR) のどちらを算定するかを選択することができます。現在の設定がマルチ機能ディスプレイに表示されたままになります。

身長がヘッドプレートから無線で転送されるか、マニュアルで入力されると自動的に算定が行われます。

1. メニューで項目「body」を選択します。
2. その選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. BMI と BFR を切り替えるには矢印ボタン送信または印刷を押してください。
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
変更された設定がマルチ機能ディスプレイに表示されたままになります。

ディスプレイのバックライトを設定する (LCd (モニター))

LCd

ディスプレイのバックライトの継続時間と明るさを変更することができます。

1. メニューで項目「LCd (モニター)」を選択します。
2. その選択を確定します。

dUr

SHrt

LOnG

3. メニュー項目を選択します。

- dUr 継続時間
- bri 明るさ

4. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。

5. ご希望の設定を選択してください。

機能	設定
継続時間	<ul style="list-style-type: none">• Short (短) (約 15 秒)• Long (長) (約 45 秒)• Perm (継続的に)
明るさ	<ul style="list-style-type: none">• 50%• 100%• OFF (オフ)

6. 選択を確定します。

メニューは自動的に終了します。

7. 二つ目の機能に対しても設定を行いたい場合には、この手続きを繰り返してください。

身長をマニュアルで入力する (HGht)

HGht
1800 cm

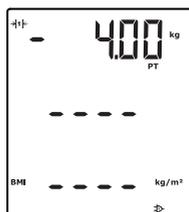
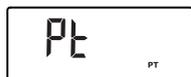
ヘッドプレートが故障した場合などは、患者の身長をマニュアルで入力することができます。

1. メニューで項目「HGht」（高さ）を選択します。
2. その選択を確定します。

現在の設定がディスプレイに表示されます。

3. 設定された値を使うか矢印ボタンで別の値を設定することができます。
4. その設定された値を確定します。
その値が記録されます。
メニューは自動的に終了します。

追加重量を保存したままにする (Pt)



風袋（患者が身に着けるもの）重量事前設定機能（Pt）により追加重量を保存した状態で保ち、測定結果から自動的に差し引くことができます。例えば靴や衣服の合計重量を保存しておき、患者がそれらをすべて身に着けて体重を測定した場合、その測定結果からそれらの重量を差し引くことができます。

1. メニューで項目「Pt」を選択します。

最後に設定した追加重量がディスプレイに点滅表示されます。

「PT」の表示がディスプレイに現れます。

2. 保存された値を使うか矢印ボタンで別の値を設定することができます。

注意事項

値「0」を入力するとこの機能はオフになります。「PT」というメッセージがディスプレイに表示されなくなります。

3. 選択を確定します。

設定された追加重量（ここでは 4 kg）がマイナス記号と一緒に表示されます。

4. 患者に体重計の上に立ってもらってください。

患者の体重が表示されます。

保存された追加重量が自動的に差し引かれます。

5. この機能をオフにするには、メニューで項目「Pt」をもう一度選択します。
6. 選択を確定します。
設定された追加重量が表示されなくなります。
機能はオフになっています。

自動保持機能をオンにする (AHold)

自動保持機能をオンにすると、体重を測定したときの測定結果が、体重計に重さがかからなくなっても表示されたままになります。こうすると体重測定を行うたびにマニュアルで保持機能をオンにする必要がありません。

注意事項

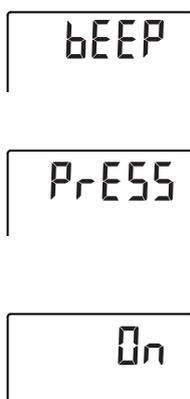
ここで選択された設定とは関係なく、2 in 1 機能では子供体重はいつも自動保持で測定されます。



1. メニューで項目「AHold」を選択します。
2. その選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. ご希望の設定を選択してください。
 - On (オン)
 - Off (オフ)
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

シグナル音をオンにする (bEEP (ビーブ音))

ボタンを押すたびに、また体重値が安定した場合にシグナル音を鳴らすようにするかを設定することができます。後者は、保持 / 自動保持機能にとって重要です。



1. メニューで項目「bEEP (ビーブ音)」を選択します。
2. その選択を確定します。
3. メニュー項目を選択します。
 - Press ボタンを押すとシグナル音が鳴る
 - Hold 体重値が安定するとシグナル音が鳴る
4. その選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
5. ご希望の設定を選択してください。
 - On (オン)
 - Off (オフ)
6. その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
7. 二つ目の機能に対してもシグナル音をオンにした場合には、この手続きを繰り返してください。

抑制を設定する (Fil)

FIL

FIL 0

FIL 2

抑制 (Fil (フィルター)) により、体重測定の際の障害を減らすことができます。選択された設定は感度に影響を与えます。その感度により体重の表示は患者の動きに対して反応します。また「Hold (保持)」機能により体重値が表示されたままになるまでの時間にも影響します。

1. メニューで項目「Fil」を選択します。
2. その選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. 抑制レベルを選択します。

Fil	体重表示	保持
0	敏感	ゆっくり
1	中	中
2	鈍い	速い

注意事項

- ・ 設定「0」にすると、じっとしてられない患者に対して、「Hold (保持)」機能がオンになっていても体重値が表示されたままにならないようにできます。
 - ・ 設定「2」にすると、表示された体重値と実際の体重値の間の誤差が最大になります。
4. その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

工場出荷時の設定に戻す (rSEt)

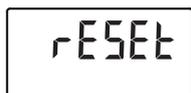
次の機能に対して、工場出荷時の設定を復元することができます。

機能	工場出荷時の設定
自動保持 (AHold)	off (オフ)
シグナル音 (Press)	on (オン)
シグナル音 (Hold)	on (オン)
抑制 (Fil)	0
自動クリア (AClr)	on (オン)
風袋 (患者が身に着けるもの) 重量事前設定機能 (Pt)	0 kg
Body Mass Index (BMI) ないし Body Fat Rate (BFR) に対する身長	170 cm
ディスプレイの照明の明るさ	50%
ディスプレイの照明継続時間	ずっと継続
BMI/BFR	BMI

機能	工場出荷時の設定
身体活動レベル (PAL)	1,0
年齢 歳	18
年齢 月	0
身長を表わす単位	cm (センチメートル)
ワイヤレスモジュール (SYS)	off (オフ)
自動転送 (ASend)	off (オフ)
自動印刷 (APrt)	off (オフ)

注意事項

工場出荷時の設定を復元する場合、ワイヤレスモジュールはオフになります。既存のワイヤレスグループに関する情報は維持されず、ワイヤレスグループを新たに設定する必要はありません。



1. メニューで項目「rESEt」を選択します。
2. その選択を確認します。
メニューは自動的に終了します。
3. 体重計のスイッチを切ります。
工場出荷時の設定が復元され、体重計を再びオンにすればその設定を使用できます。

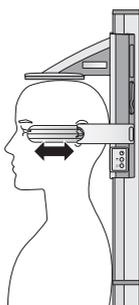
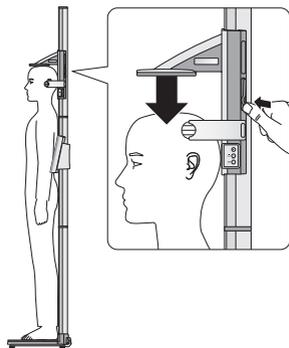
6. ヘッドプレートの操作

6.1 身長測定

- 身長測定を開始する**
1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押します。
ディスプレイに「----」と表示されます。

注意事項

- 測定結果を **seca 360° wireless** システムから受信装置に転送したいときには、受信装置のスイッチが入っていることを確認してください。
 - 測定結果を BMI または BFR の算定に使用したい場合には、マルチ機能ディスプレイのスイッチが入っていることを確認してください。
2. ブレーキボタンを押し続け、身長値がディスプレイに表示されるまでヘッドプレートを動かします。



3. ブレーキボタンを押し続けてヘッドプレートをスライドさせ、患者が楽にその下に立てるようにします。
4. 患者にヘッドプレートの下に立ってもらってください。
 - 背中をボールに
 - かかとをかかとストッパーに
 - 背中と頭をまっすぐに
5. ブレーキボタンを押し続けてヘッドストッパーをスライドさせ、患者の頭の上ののせます。
6. フランクフルト定規をヘッドプレートから引き出します。
7. 患者のフランクフルト平面をフランクフルト定規上の3つのラインのうちの適切なものに合わせます。
8. ブレーキボタンを押し続け、ヘッドプレートの位置を修正します。
9. ヘッドプレートのディスプレイに表示された身長を読み取ります。
10. エンターボタン (送信 / 印刷) を押して、その身長を **seca 360° wireless** システムから受信装置に転送します。
 - ボタンを短く押す 測定結果をすべての受信可能な装置に送る
 - ボタンを長く押す 測定結果を印刷する

測定結果を表示し続ける (HOLD)



HOLD (保持) 機能をオンにしていると、測定値は測定後もずっと表示され続けます。まだ測定値を記録していなくてもヘッドプレートをスライドさせることができます。

1. ヘッドプレートの位置を定めた後、矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を短く押してください。

「HOLD (保持)」というメッセージが表示されます。

ヘッドプレートをスライドさせても表示された測定値は変わりません。

2. HOLD (保持) 機能をオフにするには矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を押します。「HOLD (保持)」というメッセージが表示されなくなります。

相対測定を実行する (Zero (ゼロ))

ヘッドプレートのディスプレイは、任意の位置でゼロにセットすることができます。この機能により、例えば極端値測定のための相対測定が可能になります。



1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押しします。
ディスプレイに「----」と表示されます。
2. ブレーキボタンを押し続け、身長値がディスプレイに表示されるまでヘッドプレートを動かします。
3. ヘッドプレートを、そのディスプレイをゼロにセットしたい位置に合わせます。
4. 矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を押し続け、「ZERO」というメッセージを表示させます。
ディスプレイは、ヘッドプレートの現在位置でゼロにセットされます。
5. ヘッドプレートを新たな位置にずらしてください。
その長さが、設定されたゼロ値に対して測定されます。
ゼロ値を下回ると測定値はマイナスの記号と一緒に表示されます。
6. 「ZERO (ゼロ)」機能をオフにするには矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を「ZERO (ゼロ)」というメッセージが表示されなくなるまで押し続けます。

注意事項

記録作成のため、相対測定の結果を、BMI や BFR を自動的に算定する装置に転送する場合、この二つのパラメータに対しては妥当な値が明らかにされません。

測定結果をワイヤレス受信装置に転送する

ヘッドプレートがワイヤレスネットワークに統合されていると、ボタンを押すと測定結果を受信可能な装置 (BMI 機能を備えた体重計、ワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン) に転送することができます。

- ◆ エンターボタン (**送信 / 印刷**) を押しします。
 - ボタンを短く押す 測定結果をすべての受信可能な装置に送る
 - ボタンを長く押す 測定結果を印刷する



ヘッドプレートをオフにする

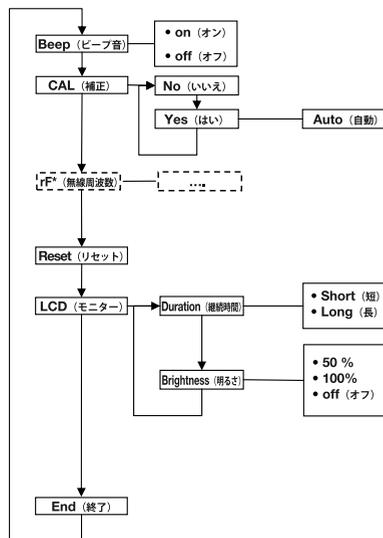
- ◆ ヘッドプレートのスタートボタン  を押しします。

注意事項

ヘッドプレートが動かされないでいると、しばらくして自動でオフになります。

6.2 その他の機能 (メニュー)

この装置のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そのようにしてこの装置をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます。



*メニュー項目「rF (無線周波数)」の説明は、48ページ「ワイヤレスグループ内のデジタル身長計付体重計の運用 (メニュー)」の章をご覧ください。

メニュー内をナビゲーションする



1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押しします。
ディスプレイに「---」と表示されます。
2. エンターボタン (送信 / 印刷) と矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を同時に押し続けます。
最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます (ここでは「bEEP (ビープ音)»)。

① LCD

② dur

③ bri

④

50

⑤ 100

⑥

3. 矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を、ご希望のメニュー項目がディスプレイに表示されるまで何度も押します (ここではディスプレイ設定「LCD (モニター)」)。

4. エンターボタン (**送信 / 印刷**) で選択を確定します。
メニュー項目もしくはサブメニューに関する現在の設定が表示されます (ここではディスプレイバックライトの継続時間「dur」)。

5. 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を、ご希望の設定 (ここではディスプレイの明るさ「bri (明るさ)」) が表示されるまで何度も押してください。

6. エンターボタン (**送信 / 印刷**) で選択を確定します。

メニュー項目もしくはサブメニューに関する現在の設定が表示されます (ここではディスプレイの明るさ 50%)。

7. 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を、ご希望の設定 (ここではディスプレイの明るさ 100%) が表示されるまで何度も押してください。

8. エンターボタン (**送信 / 印刷**) でその設定を確定します。

メニューは自動的に終了します。

9. 他の設定を行うには、メニューを新たに呼び出し、既に説明したやり方で設定を行います。

注意事項

約 24 秒間ボタンが押されないままだとメニューは自動的に終了します。

シグナル音をオンにする (bEEP (ビーブ音))

bEEP

On

ボタンを押すたびにシグナル音を出すようにヘッドプレートを設定することができます。

1. メニューで項目「bEEP (ビーブ音)」を選択します。

2. その選択を確定します。
現在の設定が表示されます。

3. ご希望の設定を選択してください。

- On (オン)
- Off (オフ)

4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

工場出荷時の設定に戻す (rSEt (リセット))

これまでに行われた設定を元に戻すために、工場出荷時の設定を復元することができます。

機能	工場出荷時の設定
シグナル音	on (オン)
ディスプレイの照明の明るさ	50%
ディスプレイの照明継続時間	Short (ショート)
ワイヤレスモジュール (SYS)	off (オフ)
自動転送 (ASend)	off (オフ)
自動印刷 (APrt)	off (オフ)
長さの単位 (Unit)	cm (センチメートル)

注意事項

工場出荷時の設定を復元する場合、ワイヤレスモジュールはオフになります。既存のワイヤレスグループに関する情報は維持されます。ワイヤレスグループを新たに設定する必要はありません。

rSEt

1. メニューで項目「rSEt (リセット)」を選択します。
2. その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
3. 装置をオフにします。
工場出荷時の設定が復元され、装置を再びオンにすればその設定を使用できます。

ディスプレイのバックライトを設定する (LCd (モニター))

ディスプレイのバックライトの継続時間と明るさを変更することができます。

LCd

1. メニューで項目「LCd (モニター)」を選択します。
2. その選択を確定します。
3. メニュー項目を選択します。
 - dUr 継続時間
 - bri 明るさ

dUr

SHrt

4. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。

LONG

5. ご希望の設定を選択します。

機能	設定
継続時間	• Short (短) (約 15 秒) • Long (長) (約 45 秒)
明るさ	• 50% • 100% • OFF (オフ)

6. 選択を確定します。

メニューは自動的に終了します。

7. 二つ目の機能に対しても設定を行いたい場合には、この手続きを繰り返してください。

7. ワイヤレスネットワーク SECA 360° WIRELESS

7.1 はじめに

この装置のマルチ機能ディスプレイとヘッドプレートはいずれもワイヤレスモジュールを備えています。ワイヤレスモジュールがあれば、測定結果を評価、記録するためにそのデータをワイヤレスで転送することができます。データの転送は、以下に挙げる装置に対して可能です。

- seca ワイヤレスプリンター
- seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン

seca ワイヤレスグループ

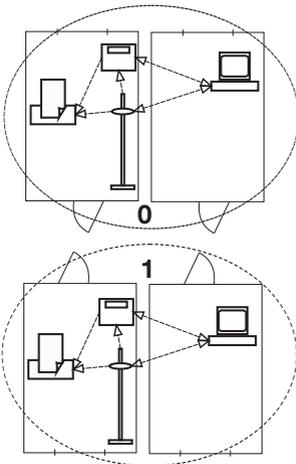
このワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** は、ワイヤレスグループとともに機能します。ワイヤレスグループとは、発信装置と受信装置のバーチャルグループです。同じ型式の複数の発信装置と受信装置を運用する場合、この装置では3つまでのワイヤレスグループ (0、1、2) を設定できます。

複数の検査室がそれぞれ同等の装置を備えて運用される場合、複数のワイヤレスグループを設定すれば、信頼できる方法で、かつ送信先を誤らずに測定値を転送することが可能になります。

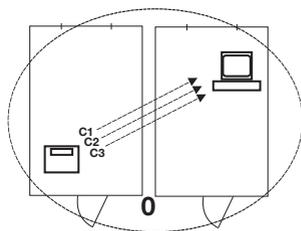
発信装置と受信装置の最大間隔は約 10 m です。それぞれの場所の特定の条件、例えば壁の厚さや特性により、この到達距離は短くなることもあります。

ワイヤレスグループごとに、以下の装置のコンビネーションが可能になります。

- 1 乳児用体重計
- 1 体重計
- 1 身長計
- 1 seca ワイヤレスプリンター
- 1 seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン



チャンネル



1 グループ内で、装置は3つのチャンネル (C1、C2、C3) で互いに交信します。

この装置でワイヤレスグループを設定すると、装置は、最適なデータ転送を可能にする3つのチャンネルを提案します。提案されたチャンネル数を採用するようお奨めします。

もっと多くのワイヤレスグループを設定したいときなどは、チャンネル数 (0 から 99 まで) をマニュアルで選択することもできます。

データ転送を支障なく行うには、チャンネルはお互いに十分に離してください。30 以上の間隔をあけることを推奨します。どのチャンネル数もそれぞれ1つのチャンネルに対してのみ使用されます。

設定例、クリニック内で3つのワイヤレスグループを設定する際のチャンネル数

- ワイヤレスグループ 0 C1=_0、C2=30、C3=60
- ワイヤレスグループ 1 C1=10、C2=40、C3=70
- ワイヤレスグループ 2 C1=20、C2=50、C3=60

装置の認識

この装置でワイヤレスグループを設定すると、グループはその他のアクティブな装置を **seca 360° wireless** システムから探します。認識された装置は、この装置のディスプレイにモジュール (例えば MO 3) として数値で表示されます。その数値には以下の意味があります。

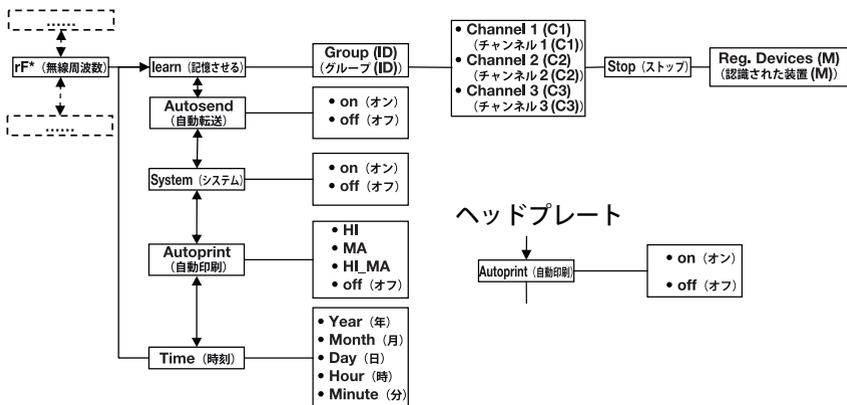
- 1: 体重計
- 2: 身長計
- 3: ワイヤレスプリンター
- 4: seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン
- 7: 乳児用体重計
- 5、6 および 8-12 システム拡張のための予備

7.2 ワイヤレスグループ内のデジタル身長計付体重計の運用 (メニュー)

デジタル身長計付体重計のヘッドプレートとマルチ機能ディスプレイは、工場出荷時には1つのワイヤレスグループを構成しています。両方のコンポーネントから出発して、その他の装置をそのワイヤレスグループに統合することができます。マルチ機能ディスプレイがあると、この手続きがとても快適になります。

設置場所に特有の条件がある場合には、工場で設定されたワイヤレスグループの機能に問題が起きることがあります。そのような場合は、マルチ機能ディスプレイでワイヤレスグループを調整してください（49 ページ以降の「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照）。そのワイヤレスグループに統合しようとしている装置のスイッチをオンにするように求められた場合には、ヘッドプレートもオンにします。

この装置を seca ワイヤレスグループの中で運用するのに必要なすべての機能は、サブメニュー「rf (無線周波数)」で説明されています。

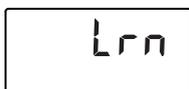
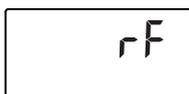


*マルチ機能ディスプレイのメニューの中のナビゲーションについての情報は、33 ページをご覧ください。ヘッドプレートのメニューの中のナビゲーションについての情報は、43 ページをご覧ください。

ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))

ワイヤレスグループを設定するには、次の手順で行ってください。

1. 装置をオンにします。
2. メニューを呼び出します。
3. メニューで項目「rf (無線周波数)」を選択します。
4. その選択を確定します。
5. メニュー項目「Lrn (learn) (記憶させる)」を選択します。
6. その選択を確定します。



Id 0

Id 1

[1 0

[230

[360

STOP

現在設定されているワイヤレスグループ（ここではワイヤレスグループ0「ID 0」）が表示されます。

ワイヤレスグループ「0」が既に存在し、この装置でその他のワイヤレスグループを設定したい場合には、矢印ボタンで他のIDを選択してください（ここではワイヤレスグループ1「ID 1」）。

7. ワイヤレスグループの選択を確定します。

装置は、チャンネル1のチャンネル数を提案します（ここではC1「0」）。

提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

8. チャンネル1に対する選択を確定します。

装置は、チャンネル2のチャンネル数を提案します（ここではC2「30」）。

提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

注意事項

二桁目のチャンネル数の表記は、空きスペースなしで行います。「C230」という表示は、チャンネル「2」、チャンネル数「30」を意味しています。

9. チャンネル2に対する選択を確定します。

装置は、チャンネル3のチャンネル数を提案します（ここではC3「60」）。

提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

10. チャンネル3に対する選択を確定します。

STOP（ストップ）というメッセージがディスプレイに表示されます。

装置は、電波が届く範囲にある他のワイヤレス通信装置からのシグナルを待ちます。

注意事項

装置の中には、それをワイヤレスグループに統合しようとする際に、スイッチをオンにするための特別な手続きを必要とするものがあります。それぞれの装置の取扱説明書に留意してください。

11. ワイヤレスグループに統合したい装置、例えばワイヤレスプリンターをオンにしてください。
ワイヤレスプリンターが認識されると、ピーという音が聞こえます。

注意事項

ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されたら、続いて印刷オプションを選択し（メニュー\無線周波数\自動プリント）、時刻を設定します（メニュー\無線周波数\時刻）。

12. このステップ 11. を、このワイヤレスグループに統合しようとするすべての装置に対して繰り返してください。

気をつけて！

ヘッドプレートへの無線接続の喪失

ワイヤレスグループを設定しているときにヘッドプレートのスイッチがオフになるとそれとマルチ機能ディスプレイとの無線接続が失われます。

- ワイヤレスグループに統合しようとするすべての装置と一緒にヘッドプレートのスイッチをオンにしてください。

13. エンターボタンを押してサーチ手続きを終了します。
14. 矢印ボタンを押して、どの装置が認識されたかを表示してください（ここでは Mo 3）。
複数の装置をワイヤレスグループに統合したときには、矢印ボタンを複数回押し、すべての装置がこの体重計によって認識されていることを確認してください。
15. エンターボタンでメニューを終了させるか、メニューが自動的に終了するまで待ちます。



Mo 3

自動転送をオンにする (ASend (自動転送))

測定結果を同じワイヤレスグループに登録されている、受信可能なすべての受信装置（例えばワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に自動的に送られるように、この装置を設定することができます。

注意事項

ワイヤレスプリンターを使用するときには、印刷オプションとして「off」が設定されていないことを確認してください（52 ページの「印刷オプション (APrt (自動印刷)) を選ぶ」を参照）。

1. 装置をオンにします。

ASend

On

2. サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「ASend (自動転送)」を選択し、その選択を確定します。
3. 設定「on (オン)」を選択し、その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

ワイヤレスモジュールを オン/オフにする (システム)

SYS

OFF

この装置はワイヤレスモジュールをオンにして納品されます。ワイヤレスモジュールをオンにすると電力消費が増えます。ワイヤレスデータ転送を使用しない場合にはワイヤレスモジュールをオフにすることができます。

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「SYS (システム)」を選択します。
3. その選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
4. ご希望の設定を選択してください。
 - On (オン)
 - Off (オフ)
5. その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

印刷オプション (APrt (自動印刷)) を選ぶ

APrt

測定結果をそのワイヤレスグループに登録されているワイヤレスプリンターで自動的に印刷できるようにデジタル身長計付体重計を設定することができます。

注意事項

この機能にアクセスできるのは、「learn (記憶させる)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。

1. ヘッドプレートとマルチ機能ディスプレイをオンにします。
2. その都度、サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「APrt (自動印刷)」を選択し、その選択を確定します。
3. ご希望の印刷結果ごとにヘッドプレートとマルチ機能ディスプレイに対して適切な設定を選択してください。

印刷結果	APrt ヘッドプレート	APrt マルチ機能ディスプレイ
身長	on (オン)	off (オフ)
体重	off (オフ)	MA
身長、体重、BMI/BFR	off (オフ)	HI_MA
自動印刷なし	off (オフ)	off (オフ)

4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

時刻を設定する (Time (時刻))

ワイヤレスプリンターが測定結果に自動で日付と時刻を追加するようにこのシステムを設定することができます。それには一度この装置で日付と時刻を設定し、ワイヤレスプリンターの内蔵時計にそのデータを転送する必要があります。

注意事項

この機能にアクセスできるのは、「learn (記憶させる)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「Time (時刻)」を選択します。
3. その選択を確定します。
現在の「Year (年)」の設定が表示されます。
4. 正しい年数を設定します。
5. その選択を確定します。
6. ステップ 3. とステップ 4. を「Month (月)」、「Day (日)」、「Hour (時)」、「Minute (分)」に対して繰り返します。
7. その都度、選択を確定します。
分の設定を確定するとメニューは自動的に終了します。
設定は自動的にワイヤレスプリンターに転送されます。
ワイヤレスプリンターは、自動的にすべてのプリントアウトに日付と時刻を追加します。

注意事項

ワイヤレスプリンターのその他の操作に関しては、その取扱説明書に留意してください。

8. 清掃

必要に応じて、この装置の表面を家庭用洗剤または市販の消毒剤で清掃して下さい。メーカーの指示を遵守して下さい。

9. こんなときはどうする？

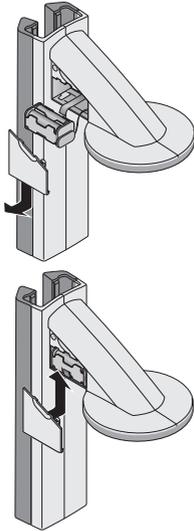
9.1 問題とその対処法

問題	原因 / 対処法
何かを載せても体重が表示されない。	装置に電力が供給されていない。 <ul style="list-style-type: none">- 体重計のスイッチがオンになっているか確認してください。- 乾電池がセットされているかを確認してください（装置を乾電池を使って運転する場合）。- 電力の供給を確認してください（装置を AC アダプターを使って運転する場合）。
体重測定の前に 0.00 が表示されない。	体重計にスイッチを入れる前に何かが載せられていた。 <ul style="list-style-type: none">- 体重計から載っているものを降ろしてください。- 体重計をいったんオフにして再度オンにします。
特定のセグメントが常に点灯している、またはまったく点灯しない。	該当する箇所には何らかの故障がある。 <ul style="list-style-type: none">- seca サービスに連絡してください。
ヘッドプレートでディスプレイのバックライトが消えてしまい、再びオンにすることができない。	電池の電圧が弱くなっている。バックライトは、電力消費を抑えるために自動的にオフになっている。まだ約 12 時間の測定を実施し、データを転送することができる。 <ul style="list-style-type: none">- 早めに新しい電池を入れてください。(57 ページの「ヘッドプレートの電池交換」を参照)
 が表示されている。	電池の電圧が弱くなっている。 <ul style="list-style-type: none">- 早めに新しい電池を入れてください。(57 ページの「ヘッドプレートの電池交換」を参照)
表示 bAtE が表示される。	電池が切れている。 <ul style="list-style-type: none">- 新しい電池を入れてください。(57 ページの「ヘッドプレートの電池交換」を参照)

問題	原因 / 対処法
表示 STOP が表示される。	<p>体重測定中</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定可能な上限を超えている。 <ul style="list-style-type: none"> 体重計から載っているものを降ろしてください。 <p>ワイヤレスグループ設定中</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスチャンネル設定が遮断されている。 <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスグループに統合したい装置をオンにしてください (49 ページの「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。
LEPPが表示されている。	<p>体重計の周囲の温度が高すぎるか、もしくは低すぎる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体重計を周囲の温度が +10 ° C から +40 ° C までの場所に設置してください。 体重計が周囲の温度になじむまで約 15 分待ちます。
マルチ機能ディスプレイが、ボタンを押しても反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> 装置は、不適切なデータが入力され、想定外の状態に置かれている。 <ul style="list-style-type: none"> 電源装置をコンセントから引き抜いてください。 約 1 分待ちます。 電源装置をコンセントにつなぐと体重計とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります。
スイッチをオンにした後、初めて測定結果を転送してみると、二度シグナル音が聞こえた。	<ul style="list-style-type: none"> 装置はワイヤレス受信装置 (seca、ワイヤレスプリンター、secaUSB ワイヤレスモジュール付パソコン) に測定結果を送ることができなかった。 <ul style="list-style-type: none"> 装置がワイヤレスネットワークに統合されていることを確認してください。 受信装置のスイッチがオンになっていることを確認してください。 受信機は、近くにある HF (短波) 装置 (例えば携帯電話) によって障害を受けている。 <ul style="list-style-type: none"> HF (短波) 装置と seca ワイヤレスネットワーク内の発信装置、受信装置の間隔を 1 m 以上あけてください。 <p>注意事項 この障害が取り除かれないと、それ以上転送を試みても、新たなアラーム音は聞こえません。</p>

問題	原因 / 対処法
統合された装置がオンになっているにもかかわらず、ワイヤレスグループ設定中でもピーという音が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 装置が認識されなかった。 - 装置をいったんオフにして再度オンにしてください (49 ページの「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。
rf メニューに項目「SYS」しか表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワイヤレスモジュールがオフになっている。 - ワイヤレスモジュールをオンにしてください (52 ページの「ワイヤレスモジュールをオン/オフにする (システム)」を参照)。
rf メニューに項目「SYS」と「Lrn」しか表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワイヤレスモジュールがオンになっていて、ワイヤレスグループが設定されていない。 - ワイヤレスグループを設定してください (49 ページの「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。
rf メニューに項目「APrt」と「Time」が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループの中に登録されていない。 - ワイヤレスグループのメニュー項目「Lrn」でワイヤレスプリンターを登録してください (49 ページの「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。
Er:H: 1: が表示される。	<p>体重計に過大な重さがかかっているか、体重計の一角にのみ偏った重さがかかっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 体重計から載っているものを降ろすか、重さが均等にかかるようにしてください。 - 体重計を再起動します。
Er:H: i2: が表示される。	<p>体重計に過大な重さがかかったままスイッチがオンになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 体重計から載っているものを降ろしてください。 - 体重計を再度スタートさせてください。
Er:H: i6: が表示される。	<p>体重計がぐらついてゼロ値を測定できなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 体重計を再度スタートさせてください。
エンターボタンを押すと Er:H: 7: が表示される。	<p>データの転送ができない。ワイヤレスモジュールがオフになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ワイヤレスモジュールをオンにしてください (52 ページの「ワイヤレスモジュールをオン/オフにする (システム)」を参照)。
エンターボタンを押すと Er:H: 7i: が表示される。	<p>データの転送ができない。ワイヤレスグループが設定されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ワイヤレスグループを設定してください (49 ページの「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。

9.2 ヘッドプレートの電池交換



4本の単三乾電池（1.5V）が必要です。ヘッドプレートの電池をセットするには、次の手順で行ってください。

1. 電池収納スペースのカバーを外します。
2. 電池容器を電池収納スペースから外に出します。
3. 消耗した電池を電池容器から取り出します。
4. 新しい電池を電池容器に入れます。

注意事項

電池の+/- 極を正しくセットしてください（電池の留め金のマーキングに注意）。

5. その電池容器を電池収納スペースにセットします。

気をつけて！

ケーブルが挟まれていることによる装置の破損および誤作動

- 電池収納スペースを閉じる前には、カバーと電池収納スペースの間に電池ケーブルが挟まれていないように電池ケーブルの位置を調整します。

6. そのカバーを、音を立ててかみ合うまで電池収納スペースに押し込みます。

10. メンテナンス / 再検定

10.1 メンテナンスと再検定についての情報

装置の再検定の前に、メンテナンスを実施することを推奨します。

気をつけて！

不適切なメンテナンスによる誤測定

- メンテナンスおよび修理は、必ず資格を有するサービス担当者に行わせてください。
- 最寄のサービス担当者は、www.seca.comでお探しください。あるいは info@seca.co.jp にメールしてください。

国内の法的規定に基づいて再検定は有資格者に依頼して行ってください。初回検定年は、型番プレート上のCEマークの後ろに、指定された機関（ヘッセン度量衡局）の番号0109の上に表示されています。

1 つもしくは複数の安全標に抵触しているとき、もしくは度量衡メーター内容が有効な度量衡メーター標に一致していない場合には、その都度、再検定が必要になります。

10.2 度量衡メーター内容を検証する

このデジタル身長計付体重計の体重計は検定済みです。検定は、資格を有する機関の手によってのみ実施されます。これを確実にを行うために、この体重計は度量衡メーターを備えています。メーターは検定技術関連のデータの変更をすべて記録します。

この体重計が規定通りの検定を受けているかを確認したいときには、次のように行ってください。

1. 装置のスイッチがオフになっていることを確認してください。
2. マルチ機能ディスプレイのスタートボタン  を押します。
ディスプレイに **SECA** と表示されます。
3. マルチ機能ディスプレイに **SECA** と表示されている間に、ディスプレイでどれか 1 つボタンを押してください。
△ というマークが表示され、現在の度量衡メーター内容がディスプレイで数秒間に渡って点滅します。
4. 提示された度量衡メーター内容を度量衡メーター標に登録された数と比較します。



度量衡の検定が有効であるためには、両方の数値が一致している必要があります。標識とメーターの数値が一致していない場合には、再検定を行ってください。サービス担当者か seca カスタマーサービスに連絡してください。

再検定が必要な場合、上記の seca 度量衡メーター標の代わりに、その隣に位置する再検定標を度量衡メーター状態の標示に使用します。この標識は、再検定を実施する有資格者によって追加スタンプによって固定されます。この再検定標は、seca カスタマーサービスから番号 14-05-01-886 で購入することができます。

11.技術データ

11.1 一般的技術データ

技術データ	
外形寸法 ・ 奥行 ・ 幅 ・ 高さ	466 mm 434 mm 2194 mm
自重量	16.25 kg
温度範囲	+10° C から +40° C まで
文字表示サイズ ・ マルチ機能ディスプレイ、3 行 ・ ヘッドプレート、1 行	14 mm 12 mm
電源供給 - マルチ機能ディスプレイと体重計 - ヘッドプレート	電源ユニット 乾電池
消費電流 マルチ機能ディスプレイ / 体重計 - ワイヤレスモジュールはスイッチオフ、 バックライトなし - ワイヤレスモジュールはスイッチオン、 バックライト常時点灯 (明るさ 100%)	35 mA 120 mA
消費電流 ヘッドプレート - ワイヤレスモジュールはスイッチオフ、 バックライトなし - ワイヤレスモジュールはスイッチオン、 バックライト常時点灯 (明るさ 100%)	20 mA 80 mA
最長運用時間 ヘッドプレート - ワイヤレスモジュールはスイッチオフ、 バックライトなし - ワイヤレスモジュールはスイッチオン、 バックライト常時点灯 (明るさ 100%)	約 3800 分 約 2200 分
測定技術上のデータ、身長測定 ・ 測定範囲 ・ 目盛り ・ 精度	30 - 200 cm (センチメートル) 1 mm ± 2 mm
指令 93/42/EEC および 2007/47/EC に準拠した医療用製品 (ヨーロッパ内)	クラス I、測定機能付
無線転送 ・ 周波数帯 ・ 送信出力 ・ 準拠規格	2.433 MHz - 2.480 MHz <10 mW EN 300328

11.2 重量測定データ

重量測定データ	
指令 2009/23/EC に準じて検定 (ヨーロッパ内)	クラス III
精度クラス (日本)	3 級
型式認定番号 (日本)	D1135 号
最大測定重量 ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	150 kg 300 kg
最小測定重量 ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	1 kg 2 kg
目盛りの粗さ ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	50 g 100 g
風袋 (身に着けるもの) の範囲	300 kg まで
初回検定時の精度 ・ 重量測定領域 1 0 - 25 kg ・ 重量測定領域 1 25 - 100 kg ・ 重量測定領域 1 100 kg - 150 kg ・ 重量測定領域 2 0 - 50 kg ・ 重量測定領域 2 50 - 200 kg ・ 重量測定領域 2 200 kg - 300 kg	± 25 g ± 50 g ± 75 g ± 50 g ± 100 g ± 150 g

12. アクセサリー

ワイヤレスネットワーク seca 360° wireless ・ ワイヤレスプリンター - seca 360° wireless printer 465 - seca 360° wireless printer advanced 466 ・ パソコン用ソフトウェア - seca analytics 105 ・ USB ワイヤレスモジュール seca 360° wireless USB adapter 456	国ごとに異なる 国ごとに異なる 用途ごとのライセンスモデル 456-00-00-009
電源供給 ・ プラグ電源ユニット、Euro: 230 V~ / 50 Hz、12 V= / 150 mA ・ プラグ電源ユニット、Int.: 100-240 V~ / 50-60 Hz、12 V= / 0,5 A	68-32-10-252 68-32-10-265

13. 廃棄処分について

13.1 装置の廃棄処分



この装置は家庭ゴミで廃棄しないでください。この装置は、電子機器廃棄物として適切に廃棄してください。各国の規定を遵守してください。その他の情報は、こちらにお問い合わせください。

info@seca.co.jp

13.2 乾電池

使用済みの乾電池および充電電池は、それが有害物質を含んでいるか否かに関わらず、家庭ゴミに捨てないでください。使用者には消費者として、乾電池や充電電池を地域の収集場所や販売業者の収集場所を通じて廃棄する法律で定められた義務があります。乾電池や充電電池は、必ず完全に放電した状態で引き渡してください。

14. 保証について

資材や製造時の不具合が原因とされる欠陥については、納品日より1年間の保証期間が適用されます。ただし、電池、ケーブル、電源ユニット、充電電池といった可動部品はすべて保証対象外となります。保証の対象となる不具合は、ご購入時の領収書を提示していただければ無償で修理いたします。これ以外の請求は保証の対象とはなりません。本装置がお客様のご住所とは別の場所にある場合、往復の送料はお客様のご負担になります。運搬中の損害で保証を請求することができるのは、運搬に純正の梱包一式を使用し、その梱包中で本機器が発送時と同じ梱包状態で保護され、固定されていた場合のみです。そのため、すべての梱包材を保管しておいてください。

seca 社から明示的に認可されていない人が本装置を開けた場合、保証は失効します。

国外にお住まいのお客様につきましては、保証をご請求される場合、各国の販売店へ直接お問い合わせいただけますようお願いいたします。

seca 株式会社

〒 262-0011

千葉県千葉市花見川区三角町 94-2

電話 : 043-216-0850(代表)

ファックス : 043-216-0851

seca corporation

94-2 Sankakucho, Hanamigawaku,

Chiba City, Chiba, 262-0011 Japan

Tel.: +81 43 21 60 85 0

Fax: +81 43 21 60 85 1

